

# 権利を守る戦い 全力で

「ご専門は何ですか」

これは初対面の方などからよく聞かれる質問です。私には専門というものはありません。というのは、弁護士数の少ない地方都市では、事務所を持ち込まれる様々な事件にできる限り対応しようとするれば、担当する事件の種類もおのずと多様なものになるのです。

私は、特定の分野に集中するよりも、地域社会に密着して、そこ



## 弁護士 金山 孝治さん



で起こる様々な紛争の解決に力を尽くしたいと思えます。そして、どんな事件でも、自らの権利を守るために戦おうとする依頼者の思いに、誠実に応えたいと考えています。

「県内の弁護士はみんな顔見知りなんです。それでは事件でぶつかっても「なあなあ」になってしまうませんか」

これもある方から聞かれたことです。私自身、弁護士になる前は

同様の疑問を持ったこともありました。

現在、県内の弁護士は63人。ほとんどは互いに顔見知りで、普段は弁護士会の活動などで協力し合う関係にあります。県内の民事事件で、当事者双方に弁護士がつくと、弁護士同士は顔見知りということもよくあります。

しかし、断言しますが、どんな場合でも、依頼者の権利を守るために最善の弁護活動をするのは当然であり、相手方に普段は親しい弁護士が付いても、弁護活動に違いはありません。

そして、事件では互いの主張を激しく戦わせても、事件を離れた場面ではまた協力関係に戻ります。私は、このような弁護士同士の関係を好ましく思っています。

(錦織法律事務所)